

図書館協議会委員を募集

図書館運営について広く意見をいただくため、委員を募集します。

任期 4月1日～令和8年3月31日(2年間)

対・市内在住・在勤・在学の18歳以上の図書館利用者

・市の他の審議会などに在籍していない人

定2人(選考)

甲3月6日(水)午後7時までに作文(700文字程度)と応募書をメールまたは直接、下記へ提出。応募書は下記または各地区会館に設置。図書館ホームページからもダウンロード可。

他・応募者は、3月8日(金)に市立図書館で面接を行います(時間は応募者にお知らせします)。

・協議会は、年3回程度開催。

・協議会出席1回につき既定の報酬を支払います。

閩市立図書館

☎・☎(583)1639 FAX(583)6949

✉toshokan@city.moriyama.lg.jp



ホームページ

ボランティア観光ガイド協会 会員募集説明会

ボランティア観光ガイド協会は、中山道守山宿を中心に市内の名所・旧跡などの文化遺産の観光ガイドをしています。

また、研修会やガイド養成講座で、会員のガイド能力の向上に努めています。

観光ガイドに興味のある人は、ぜひ、ご参加ください。

時3月6日(水)午前10時～正午

(受付：午前9時45分～)

所市民交流センター

内・新入会員用ガイド手引書・研修会・ガイド養成講座の説明

・ガイド見学(東門院周辺)

定10人 持筆記用具

甲2月28日(水)午後4時までに、氏名(ふりがな)、年齢、住所、電話番号を記入のうえ、電話、ファクスまたはメールで下記へ申し込み。

閩市ボランティア観光ガイド協会 事務局
(商工観光課内)

☎・☎(582)1131 FAX(582)6947

✉shokokanko@city.moriyama.lg.jp

発見ニススメ

佐川美術館「アートコラム」⑧

学芸員 佐川美術館
上村友理



立春が過ぎ、暦の上では春を迎えています。そろそろ見頃を迎える梅は、寒の名残のある頃から咲き始めるので、百花の魁といわれます。朝、窓を開けると漂ってくる香りは、一足早い春の到来を教えてくれます。

古来より愛でられ、目度いものに挙げられる梅は、画題としてよく描かれてきました。有名な梅の絵としてまず思い浮かぶのは、尾形光琳(1658～1716)作《紅白梅図屏風》(MOA美術館蔵)ではないでしょうか。左右に梅、中央に黒い川が豪快に流れる構図は、今なお斬新に映ります。21世紀に入ると、描き方など技法・材料の謎に迫る調査が行われました。この時、川には銀が使用されたという考えに反して金属元素が検出されず、一時、大きな謎として注目を集めました。しかし、その後の調査では、測定器の精度の向上もあり、銀を含む金属元素が確認されます。その結果、黒い部分は銀箔を硫黄で黒変させ、波は罌水*で黒変を防ぎ描いたのではないかと考えられています。

描かれてから300年以上経ても人々を惹きつけ、新発見が出てくる、見つけようとする人がいるのは、絵が持つ魅力の高さ故でしょう。改めて鑑賞すると、全体が画面に収まりきらない紅白の梅は、まだ一分咲き程度と、これから咲き誇っていく未来を予感させます。幾度も目にした作品も、鑑賞するたびに何か新しい気付きが出てきます。春に向かい日増しに暖かくなる日に、新しい何かを見つけに出かけるのはいかがでしょうか。

* 膠と明礬を混合した水溶液。にじみ止めや箔の接着・保護に用いる。

※開館情報につきましては、ホームページでご確認いただくか電話【☎(585)7800】でお問い合わせください。